

福井 〇〇 鯖江
金子眼鏡店
ESTABLISHED 1958

特別が日常になる。

函館市末広町17-1 TEL:0138-22-3070
10:29~19:29
不定休 駐車場有(元町パーキング2F)
www.kaneko-optical.co.jp

金子眼鏡の公式サイト

函館の味、
キッコーカワイチの味。

私どもキッコーカワイチ・道南食糧工業は、
昭和十七年の創業以来、道南食糧工業は、
函館唯一の味噌・醤油の製造元として、
ずっと変わらぬ函館のみなさまから愛される味に
こだわりの続けてまいりました。

道南食糧工業(株)
北海道函館市栄町2-7 0138-22-2721

【販売所】
営業時間
8:30~17:00
※土曜日は15:00
定休日/
日曜日・祝日、第2・第4土曜日

函館唯一の味噌・醤油の製造元として、
ずっと変わらぬ函館のみなさまから愛される味に
こだわりの続けてまいりました。

しながき加奈
ウィメンズクリニック
SHINGAKI KANA WOMENS CLINIC

生理の悩み／更年期の相談／不妊症／小児・思春期の婦人科相談／
子宮がん検診／プラセンタ／子宮頸がんワクチンなど

	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00 (受付9:00~11:30)	○	—	○	○	○	—
14:00~17:00 (受付14:00~16:30)	○	—	○	○	○	—
10:00~15:00 (受付10:00~14:30)	—	—	—	—	—	○

【休診】火・日・祝日・年末年始・お盆
【診療受付時間】月・水・木・金／午前11:30まで、午後16:30まで。
土／14:30まで。

函館市五稜郭町35-12 ブルーミィ五稜郭1F
Tel. 0138-83-2551 URL: https://sk-womens.com

完全予約制
ご予約はHPから→

CLIP
HAKODATE
【クリップ函館】vol.19

CLIP
HAKODATE

佐賀吉憲
柴田まや
ピーター・キーン
佐々木風
武藤留衣
芹沢久子
山本直美
スギナカモモコ

荒木あけみ
縷坂麻規子
中川大介
夏井俊介
平野陽子
田畑裕子
小宮伸二
川村幾代
新垣加奈
松田夏海
はがなつ
大下智一
チュークン・ソラーヤ
ジョイス・ヒル
ダイトウ
北見ひで子
中村ひでのり
K OTTOM I

HIF INFORMATION
H I Fからのお知らせ
参加者たちの声
蘇・ジャスティン
from H
道南のイベント情報

【クリップ函館】vol.19

2026 1 - 2
bimonthly

続・眺めて愉しむ
101冊の本。
101 RECOMMENDED VISUAL BOOKS



Happy
New Year
TAKE
FREE

2026年10月号(毎月発行)
2026年11月号(毎月発行)
発行人/道南 誠
編集人/村山 ひとみ

CLIP HAKODATE 編集室
〒040-0004 函館市末広町17-1 TEL: 0138-22-0770 FAX: 0138-22-0680

続・眺めて愉しむ 101冊の本。

中村ひでのり・松田夏海 取材文

ばんやり眺めて楽しむもよし。じつくり時間をかけて読み込むもよし。
冬の夜を心地よく過ごすための一冊を、
8人の本好きの方々の話とともに、CLIP編集部がチョイスしました。

101 RECOMMENDED VISUAL BOOKS

相変わらず紙の本。の苦戦が続く
中、リトルプレスが静かなブーム
という話もある。今回は弊誌
vol.10で特集した「眺めて愉しむ
101冊の本」の続編。前回同様、読
書はあまりしないという方でも愉
しめする101冊+αをご紹介します。

自分が本当にやりたかった仕事と向き合う日々。
柴田まや / マーヤコーヒー店主

市内の高校を卒業後、札幌で水泳のインストラクターとして働いていた柴田まやさんが、コーヒー店を開業するきっかけとなったのは、20代前半にワーキングホリデー制度を利用して1年間滞在したオーストラリアでの体験だったと振り返る。
「それまでコーヒーにはそれほど関心もなかったんですが、むこうで飲んだコーヒーがとても美味しくて感動なんです。初めはただ飲むだけだったんですが、そこからどんどん興味が湧いてきて、自分で焙煎したいと思うほどハマっていきまして。思い返せば、あの時の体験が、今の仕事に繋がっているんだと思います」
帰国後、インストラクターを続けたり、ニセコの飲食店に勤務したり…という日々を送っていた柴田さんだが、日に日に「自分は本当に好きなことを仕事にしているだろうか」という思いが強くなる。そして、ずっと胸にしまっていた思いをカタチにするために、小笠原諸島にあるコーヒー農園で働き始めることを決心する。
「国内では沖縄でも複数の農園で栽培していますが、小笠原は日本で初めてコーヒー栽培に成功した場所なんです。そこで働きながら学びたいと思ったんです」
小笠原で技術や知識を身につけ、農園に自分の店をオープンしたのは5年前。大変なこともあるが、自分らしさを大切に営業している。少しでも多くの人に、本当においしいコーヒーの味を知ってもらいたいと格闘する毎日だ。



●柴田さんおすすめの一冊

かんぱんのないコーヒーや
かめおあきこ / 著
ふたりと入った看板のないコーヒー屋で飲んだ
コーヒーの味は心もろはれたオオカミくん。
日本どこどこにしかないあるコーヒー屋を
モデルにしたお話し。(ほる出版)

PROFILE

Maayan Koffee
函館市宝来町20-3
Instagram @mayankoffee



●佐賀さんおすすめの一冊
タイボさんぽ 路上の文字観察
藤本健太郎 / 著
有名な無名のデザイナーや市井の人々の手仕事
によって生み出され、風情に添った文字たち。現在、
帯広市在住の著者が集めた、懐かしも新しい
路上の文字を厳選して紹介。(誠文堂新光社)

PROFILE

神奈川県相模原市生まれ。桑沢デザイン
研究所卒。2010年に函館に移住。様々な
企業の仕事に関わる。2024年より函館デ
ザイン協議会 会長。

函館デザイン協議会
E-mail: info@hdc-web.jp

佐賀吉憲

函館デザイン協議会会長、グラフィックデザイナー

時には美しく、時には珍妙な「路上の文字」の面白さ。

東京でグラフィックデザイナーとして活動していた佐賀吉憲さんが、函館に移り住んだのは2010年のこと。そこから現在に至るまで、食品会社のロゴやパッケージデザインなど数多くの仕事を手がけ、注目を集めてきた。函館酪農公社の青とオレンジの牛乳パッケージや、はこだて柳屋の「ロマネスク函館」の包装など、函館市民なら誰もが知っている商品のデザインリニューアルは、佐賀さんの手のするものだ。「製品」の価値は維持しつつ、それを現代のニーズや市場環境に合わせてデザインを更新し、より一層魅力的なものにする——グラフィックデザイナーとしての力量が試され、やりがいも感じる仕事だった。その後も企業からのさまざまな依頼に応え続け、昨年には「函館デザイン協議会」の会長という役職も任されることになった佐賀さん。そんな彼が、ずっと手放せない一冊の本が「タイボさんぽ」路上の文字観察だ。
「街中には商店の看板や標識など、たくさんの「文字」が溢れています。函館の場合は屋号もたくさん見かけます。その中には既成書体ではなく、誰が考えたのかかわからない様々なデザインの文字があります。それを見るのがとても楽しい。作り手の工夫や苦勞の跡が感じられ、中には仕事のヒントになるものもある。タイボグラフィ好きの僕にはたまりませんね。この本にはそんな魅力がたくさん詰まっています」。



タイボさんぽ 路上の文字観察
藤本健太郎 / 著
有名な無名のデザイナーや市井の人々の手仕事
によって生み出され、風情に添った文字たち。現在、
帯広市在住の著者が集めた、懐かしも新しい
路上の文字を厳選して紹介。(誠文堂新光社)

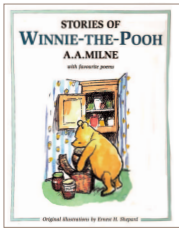
暖炉のそばで母に読んでもらった思い出の本。
ピーター・キーン / 遺愛女子中学・高等学校 教諭

「子どもの頃、暖炉のそばで母がよくこの本を読んでもくれました。僕も自分の子どもに読ませたくて、古本屋で探したんです」
遺愛女子中学・高等学校で英語を教えるキーンさんの思い出の1冊は「Winnie-the-Pooh」。1926年に発表されたA.A.ミルンの児童小説で、発表当初からイギリスでは高い人気を誇り、1960年代に米国ディズニー社でアニメ化されるなど日本で「クマのプーさん」として広く知られるようになった。
「Winnie-the-Pooh」の挿絵を手掛けたのは、ロンドン生まれの挿絵画家E.H.シェパード。シンプルな線で登場人物の繊細な気持ちを表現する挿絵には、往年のファンも多い。キーンさんが母に読んでもらい、後に買い求めたのも、ディズニー版ではなく、このシェパードの挿絵がある版だ。
作中に登場する少年のモデルは作者の息子クリストファー・ロビン・ミルン。プーは彼のディベアから着想を得たとされる。長い間、世界中で読み継がれてきた「Winnie-the-Pooh」。大人になって読み返すと、子ども時代とは違った感想が生まれるという。
「僕はある時は賢こぶるフクロウだし、ある時はいじけるロバ。本当はプーさんみたいになりたいけど、なかなか難しいですね」。



PROFILE

ニュージーランド出身。1988年来日し、道弘・梅山宮内のALTとして活躍後、英会話スクール講師を経て、現職。読書が
外の趣味はカー。



●キーンさんおすすめの一冊
STORIES OF WINNIE-THE-POOH
A. A. Milne / 著
E. H. Sheperd / イラスト
ハチミツ好きのくまのぬいぐるみと、「100
エーカーの森」に暮らす仲間たちの、自然と想像
を描いた物語。2026年には初版発行から100
周年を迎える。(DEAN社)

種から作物を育てるように本をつくる出版社。
佐々木風 / かくれんぼパブリッシング 代表

北海道森町で、本と野菜をつくっています。
これは、2024年に森町で出版社「かくれんぼパブリッシング」を立ち上げ、「雨晴農園」の名前で農業を営む佐々木風（そよぎ）さんの自己紹介だ。
「もともとは畑のそばで本屋をやりたいと思って、使われていない小屋を改装していたのですが、そもそも自分は「本がどう作られていくか」を知らないことに気がついて。だったら、種まきから始める野菜づくりのように、本も一から作ってみよう。それが自分にも、お客さんにも、本にも、読みたい方と向き合い方だと思ったんです」
出版社への勤務経験はゼロ。本づくりに関する書籍を読み込みながら、企画を立て、著者を選び、言葉を尽くして協力を依頼した。経験者の目線がどうしても必要だと感じれば、東京のひとり出版社へ連絡をとった。そうして刊行されたのが、全国19名の「つくり手」が創る・種く・暮らすのバランスについての書籍を綴るエッセイ集「生＝創×種×暮」だ。
特に読書にのめり込んだ自覚があるのは大学時代という佐々木さん。図書館で多くの時間を過ごし、答えのない問いに向き合う日々を送った。そして、その答え探しは今も続いている。そんな佐々木さんは、哲学的な問いをユーモアたっぷりに描くヨシタケシンの作品に、何度もハッとさせられたという。特に好きなのが右の1冊。



PROFILE

北海道生まれ。2024年に、森町にて「かくれんぼパブリッシング」を立ち上げ、「生＝創×種×暮」を出版。(雨晴(アマラシ)農園)という名前でも農業も営む。



●佐々木さんおすすめの一冊
ぼくのニセモノをつくるには
ヨシタケシノブ / 著
やりたくないことをやらせたいために、ロボットを
買ったんだけど、ロボットはニセモノだとバレない
ために、とけんたににつくって、仲間と始める(自分)
について考えた一冊。(ブロンズ新社)

かくれんぼパブリッシング
北海道森町森町字内町1002-1
https://kakurenbo-publishing.com/
Instagram @kakurenbo_publishing

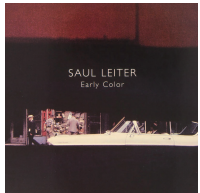
ヘアメイクから雑誌編集者、さらに新たな道へ。
武藤留衣 / TIP WOOLEN MILLS 代表

武藤留衣さんのこれまでの経歴をこの場で語るには、あまりにも情報量が多すぎて難しい。駆け足で追ってみると、東京の下町で生まれ育ち、高校卒業後にヘアメイクの専門学校へ進学。その後、ある大きなコンテストでの受賞がきっかけとなり、バリのメイクアップのアトリエに在籍することになる。
「著名なメイクアップアーティストたちの側で過ごした2年間は、新鮮で、刺激的で、とても大きな学びになりました」
ところが、帰国してメイクアップの仕事が続いていたある日、「+81(プラス・エイトワン)」という雑誌が、たまたま彼女の目に留まったことが分岐点となる。アートやファッション等にてフォーカスし、日本語・英語が併記されたそのインタビュー誌は、デザインのクオリティが高く、「日本にもこんな雑誌があったのか」と素直に驚いた。「自分もこんな仕事がしてみたい」と思い立った武藤さんの、そこからの行動力が凄まじい。デザインスキルを身につけようとデザイン事務所に勤務。その後、フランス向けのガイド本の制作にも携わる。そして、「+81」の発行元が求人していることを知り、迷わず応募。そこから13年間、編集者として活躍することになった。
そんな武藤さんが、函館に移住するきっかけとなったのはコロナ禍のリモートワークのだが、現在、彼女が計画する「羊毛プロジェクト」については、またの機会に。



PROFILE

東京都墨田区生まれ。ヘアメイクの専門学校卒業後、渡仏。帰国後はデザイン会社などを経て、2010年より雑誌「+81」の編集に携わる。2020年に函館に移住。



●武藤さんおすすめの一冊
Early Color
Saul Leiter, Martin Harrison / 著
アメリカン・ポップ・アートに生まれ、ニューヨークで活動した写真家サール・ライター・カラー
フィルムで撮られた美しい後の写真家が、世界から
注目されるきっかけとなった一冊。(Steidl社)

TIP WOOLEN MILLS
武藤さんが準備を進めている、北海道産の羊毛を使用したブランド「トッパウーレン・ミルズ」のサイトは、
1月中旬に開業予定。TIP WOOLEN MILLSの検索を。

大沼のほとりで伝える絵本の魅力。
芹沢久子 / 二月の羊 喫茶・ギャラリー担当

大沼湖畔の焼菓子店「三月の羊」の喫茶コーナーでは、絵本の原画展やアート作品の展覧会が開催されている。これらを企画・運営しているのは店舗に立つ芹沢久子さんだ。
久さんは群馬県高崎市生まれ。東京都の公共図書館で司書として勤務した後、芹沢章正さんが都内で営んでいた「三月の羊」にパートナーとして加わった。夫婦二人三脚となっていた西荻窪の店舗は喫茶と絵本店を併設し、ギャラリーカフェとしても楽しめる空間に。
その後、2010年に大沼へ移住し、2019年には現在の店舗でもギャラリーカフェを再開した。
「大沼では絵本や児童書で描かれている自然の情景がとても身近に感じられます。ここで原画展を開くことで、作品の魅力をより深く伝えられると思っています」
これまでずっと本と向き合い続けてきた芹沢さんだが、司書時代には少し辛い現実も目にしていた。
「良い本でも、背表紙が目立たないために借りる人が少なかったり、素晴らしい名作でも古くとも閉架(へいか)にしまわれたまま忘れられていきます。私が絵本に関わる活動をしているのは、そうした本を「応援したい」という思いがあるからです」
現在、店舗は冬休業中。4月のオープンに向けて、原画展の計画や準備を進めているとのことだ。



PROFILE

群馬県高崎市生まれ。大学卒業後、東京都の公共図書館司書として勤務。2010年大沼に移住。焼菓子店「三月の羊」の喫茶・ギャラリー部門を担当。

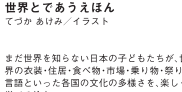
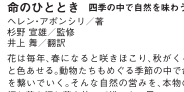
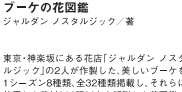
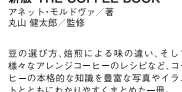
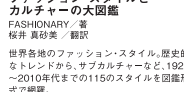
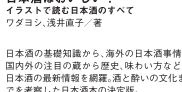
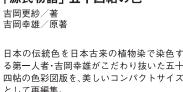
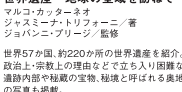
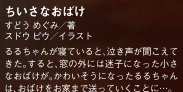
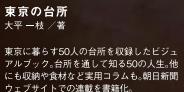
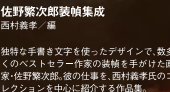
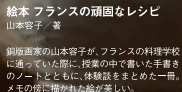


●芹沢さんおすすめの一冊
ぼくのニセモノをつくるには
ヨシタケシノブ / 著
やりたくないことをやらせたいために、ロボットを
買ったんだけど、ロボットはニセモノだとバレない
ために、とけんたににつくって、仲間と始める(自分)
について考えた一冊。(ブロンズ新社)

三月の羊
群馬県高崎市上町11-9-11
https://ramblama.com/
Instagram @ramblama
※店舗販売は4月-11月。通信販売は通常営業

続・眺めて愉しむ
101冊の本。

101 RECOMMENDED VISUAL BOOKS





冬の荒れ野にたたずむ馬の姿を切り撮る。

———●小池貞子／写真家

函館市日ノ浜町(旧尻岸内町)で生まれ育ち、現在もこの町に暮らす小池貞子さんが本格的に「写真」を始めたのは、子どもが成長し、育児から解放されてからのこと。そもそも、夫の五郎さんがこの町で写真館を営んでおり、撮影に関するスキルや現像のことなど、指導を受けることができる環境だった。そして、長男の幸之さんも、企業に勤務する傍ら、東京を拠点に写真家としての活動もしている。髣髴vol.17でも紹介したが、今年9月には入船町の「函館どつく赤レンガ倉庫」を題材にした写真展も行っている。つまり、小池家は家族みんながそれぞれの立ち位置で「写真」に向き合っている。

地方は今、どこも同じ状況ではあるのだが、日ノ浜町も

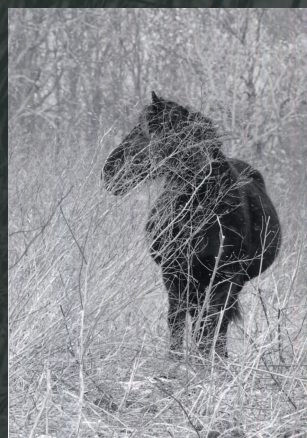


急激に過疎化が進み、人の数が減り、空き家も目立つようになった。小池さんが幼い頃から慣れ親しんだまちの様子とは大きく姿を変えてしまった。それでも、前浜に打ち寄せる波の風景や海から吹き付ける風の匂いは昔のままだ。小池さんの被写体を探す目は、そんな身近な風景の光や色の僅かな変化に向かう。

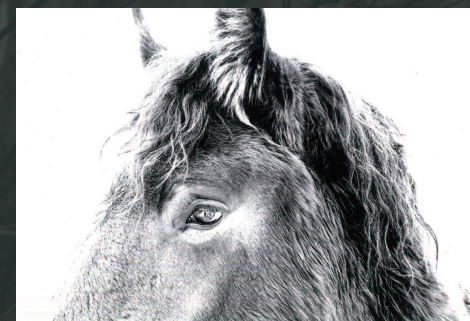
逝ること5年前、2020年のある冬の日、小池さんは五郎さんといっしょに国道278号線を森町方面に向かい、沼尻周辺に差し掛かった時、車の窓から道路脇の雪原に数頭の馬を見つけ、慌てて車を止めた。寒さに耐えるように静かに佇むその姿に惹かれ、夢中でシャッターを切り続けた。それが小池さんと馬たちとの最初の出会だった。初雪が降り始める頃になるとその場所に放牧されることを知り、そこから毎年、撮影に向かった。やがて何度か通っているうちに、小池さんがカメラを構えると馬たちの方から近寄ってくるようになったという。

気づけば、この馬たちの姿を追うことが小池さんのライフワークになった。もちろんこの冬も、小池さんは馬たちに会いに行く。

フォトスタジオ小池
函館市日ノ浜町 151-1 0138-85-3131
E-mail: ggg11@d1.dion.ne.jp



小池さん撮影のクニシロはSONYサイバーシャットR1000M1



C L I P G A L L E R Y

クリップ・ギャラリー

（ かるやかにおもいを包む。）

ヒロシキ屋の世界愉快化計画

北見伸子 / まるたま小屋店主

第⑥話 / ラクエン

楽園と聞いて人は何を
思い浮かべるだろう
か。パステルカラーの世界に
果物バスケットに横たわったレディ
の足元は大みないな？ 私の
楽園はうしろのハスカー・ド
ライ君である。なるたけライは
からし英語で楽園の意味だ
から、そもそもハスカーを飼
うつもりなどなく、昨夏なぜ
かSNSでやたらハスカー
と猫の動画をあげられてい
たのと同じハスカーを飼
いなおとつがやたら言堂荒
動今年3月に、売れ残りがい
のきと言われている猫が運
の尽き。いや、幸運の始まり
が？。そもそも子供の頃の愛
読書が「愛犬の本で「動物
のお医者さん」を2セット

持っていたりと素地はあつ
た。結果、これまでの人生で
まったくアウエイだった
ドッグランに早起きして通
う日々、そこに集う住人、住
犬！たちの名前は、パロ、
エル、フエ、エム、タ、カ
、カラル、太郎、エマ、せお
と、どこか郷土語である？
つながらないが、飼い主たちは
ババママと名づけて、ドイツ
パドルとゴールディンレト
リバーであったも同じ家な
か。

兄弟、最初まるたま小屋を
始めたとき、ピロシキ屋では
なく、つながるという理念のう
ち、国産も血縁も世代も性別
も超えてつながり、あつた、
意味楽園を作るのが目標
だった。それってドッグラン
のことだったの？、ライは
長くペットショップにいた
たせが、大好きで、誰彼構わ
ず大喜びで攻撃、拒絶されて
も得意のジャンプで攻撃を
かわして、ここへ迫るのに、
本人には楽園が相手には、
地獄か？。そんなライを眺
めつつ我が十年を振り返り、
と人間は思うより難しく理
想通りにはいかず、その中で
も本通りに信じられる人を見

つけた成長はしているがま
だ途上。そして、いかにも思
いをもって、何万人、
とつての楽園を作ることは
不可能で、ただ無差別な好奇
心と愛をもつて世界に飛び
込めば、それが自分にとつ
て楽園にたどり着けるのだし
かしれ、それである意味、とり
よがりな楽園だから拒絶し
たいられるしかなない。しか
しライはしつこく、なかなか
離れず、仕方なく無理やり離
すライが、たんに無理やり離
犬を追いかけなくなったと
きであるのか？、ドッグラン
はライにいつだってどんな楽園
になっているだろう。そのと
き私はライの姿にそのを見
るだろう。

PROFILE

千葉県千葉市生まれ、焼きピロシキとボルシチの店「まるたま小屋」店主。ソニーとして働きピロシキ代表。自衛隊在任26年。双子を養育4人の母。第2店とパバリアンとコラボレーションを結ぶ。チーフ・サランダースと同い年シブ。産育の秘訣が「楽しくくらすことない」。

勉強以外にすることがあまりなかったです。と謙遜するが、国内で女性の大学進学率が高い今、医学の道に進めたのは、彼女の優秀さと家族の理解があったからだろう。

大学進学時に一時故郷を離れたが、卒業後はボンプタンの病院で働く道を選び、様々な科で経験を重ねた。特にやりがいを感じたのは出産前後の女性と赤ちゃんを支える産婦人科の仕事を担当した時。

国語結構は、3児の母となったらジョスさん。現在は子育てに奮闘しながら、夫とともにバブアニューギニア産のパラビラニを販売する「PapuaVani(パプバニ)」の活動に取り組み、故郷のため、人のために、自分ができることを続けている。



ジヨイスさんが勤務していた病院



左／伝統的なクレイボットでの炊事。蓋にはバナナの葉を使用。
上／学校の様子。給食がないため、ランチが販売されている。

PROFILE

看護師の姉の影響で、医療の世界に興味を持つ。勤務先の病院でJICA海外青年協力隊の現夫と出会い国際結婚。函館市内の小学校でALTとしても活躍中。



特 集の話は面白いのですが、先日、本誌に連載をお願いしている平野陽子氏に食事に行った時の話です。

「私の原稿は大丈夫ですか？読むのに耐えることができます。」と突然尋ねてくるので、「すっぴん面白いよ」と答えました。すると「ホントですか？ホントにホントにホントですか？」と、酔っているせいなのか、何かつしっこいのでいや、ホントに面白いよ。この原稿を目当てにCLIPを読むという人もいますと思うよ」と持ち上げました。「いやいや、それは大褒状です」と謙遜する彼女をどうもう一段持ち上げようと思った僕は、「平野さんの原稿は、日常の中に転がっているように思える石ころです。丁寧に磨いて宝石に変えてくれるようなモデルに、磨く石のように女子力で褒め称えながら、内心、我ながらずいぶん上手いことを言えたなと思いました。」

ところが、「中村さん、それは違いますよ。」



北斗市(旧大野町)生まれ。東京でデザイン・編集の仕事をし、40歳の時にUターンし飲食店を起業。10数年前からまた元の仕事にも手を出し始める。

4人の子持ち主婦 KOTOMIの
ちょっぴりアンニュイな午後3時

家
上
げ

ママ
新しい月経薬が
お金かかるの？
お手洗いがないの？

ん？わ 4つあるじゃん
・お風呂に干す
・お洋服に付け
・お風呂に3分
・○○のお母さんでいい
(真)

じゃあ2つが
茶碗と箸の洗い物にさー
いくの？

えー 100円

やす、

Help.

PROFILE

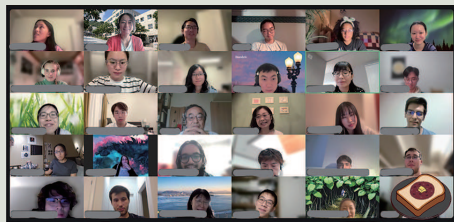
函館市生まれ。数年前1人はイラストレーターになること決意し、Instagramに作品をアップしたところ、仕事の依頼が口から口へ回っていき出す。4人の子どもの母。

週に1度集まれる居場所
●HIF会話テーブル Season 13

「会話テーブル」と言われても、あまりピンと来ない方も多いかもしれません。英語の conversation tables を日本語に訳したのですが、興味のある人が(テーブルを囲んで)集まり、カジュアルな会話を楽しむ場です。

「HIF会話」はZoomで行うので、寒いまでも自宅からご参加いただけます。共通言語は日本語で、1時間のうち30分は日本語での会話をしますが、残りの30分は英語での会話を選択することもできます(もちろん全部日本語でもOKです)。3人前後の小グループに分かれて、その日のトピック(推し懸、好きな○○など)について話し合います。15分×3ラウンドです。

学生さんか一般の方かで、面談および近況に上住まいの日本語母語話者の方は、基本的にどの近くでもご参加いただけます。館に縁の方であれば、現在面



【参加者からのコメント】

・印象に残っていることは、話している人の温かさと面白さです。会話テーブルで日本の若者の希望、大人の悩み、お年寄りからのアドバイスなど、みなさんの話を聞いて、「失敗しても、向上心を持って頑張っていく」と思えるようになりました。(アメリカからの参加者)

館在住でなくてもOKです。海外からは、アメリカのコロラド大学、デューク大学、ミシガン大学で日本語を勉強している学生(卒業生含む)に加え、HIF主催「日本語日本文化講座夏期セミナー(JJ)」修了生が参加しています。

アメリカの大学で日本語を勉強している学生と、気軽に会話してみませんか。

【開催日時】 金曜日(全回) 10:30~11:30

1月/30日 2月/6日、13日、20日、27日

3月/6日、13日、27日

※1回からご参加いただけます。

※当日は、ZoomのカメラをONにご参加ください。

【申込方法】 各回開催の2日前(水曜日)までにお申込みください。



みんなで「雪だるま」づくり
●留学生と雪遊びを楽しもう

ふ る函館の広い庭を使って、大きな雪だるまを作り、寒い冬を楽しく過ごしましょう。北海道の「冬」を初体験する道外の外国人留学生や函館在住の外国出身者も参加予定。外国の方と交流してみたい、たくさんの人と函館の冬を楽しみたいなど、年齢・国籍問わず、どなたでもご参加いただけます。

【日時】2/6(金)14:00~16:00



【参加方法】
下記の申込みフォームまたは電話でお申込みください。
詳細は北海道国際交流センター（HIF）のホームページもご覧ください。



毎年、大人気の春節パーティー
●中国の春節を体験しよう

春とは、中華圏における旧正月のこと、中国をはじめ、台湾、韓国、シンガポールなどの国々では、今でも旧暦の旧正月を盛大に祝っています。

2026年の春節は2月17日です。春節の日に食べることで「富めたらえ」と言われる「餃子」と中国では春節の縁起物「火鍋」を一絶に味わいましょう。

景品ありの楽しいゲームも企画中です。

【日時】2/21(土) 15:00~18:00

【場所】北海道国際交流センター

2階 キッチン8階席 面館市元町14-1

【定員】約20名※先着順

【参加方法】



下記の申込みフォームをご利用ください。
詳細は北海道国際交流センターのホームページ(1月下旬に投稿予定)もご覧ください。



HIFで、
世界とつながる。
函館とつながる。

イベント
参加者の
声

蘇・ジャスティン Justin Su
「HIF 会話テーブル」参加者／2024 年 JJ 参加者



会話テーブル—私の居場所

私は2024年の夏休みにHIFの留学プログラムに参加した新・ジェンティンです。ノースカロライナ大学の学生で、専攻はコンピュータ科学と統計学です。HIFのプログラムに参加している間、毎授業で日本語しかしゃべらなくて、授業後でもホストの家族とか町の他の人と話す時には日本語を使わないことになりました。なので、その八週間の中に、私の日本語のレベルがぐんぐん上進することを感じました。でも、アメリカに帰った後、専攻の授業のために日本語の授業がほとんどなくて、日本語で話す機会が少なくなっていました。

日本語を練習したいという人にたくさん
の単語や文法や話し方を忘れて、自分
が日本語で話せる自信がますますな
くなりました。そのため、私はHWFがオ
ンラインの会話テーブルを提供するこ
とに本当に感謝しています。最初の会
話はよく解張して、どうしよう、私、
日本語を全然忘れた！と思って、その
ような考えがずっと悩んでいました。で
も、会話テーブルが終わった時にとても
楽しかったことに気が付いて、また
来週行ないたいと思います。

私は毎週日本語会話グループに参加している。会話グループは日本語と英語を思い出すようにするものなり。更に、他の参加者と近づくことができ、意気盛んになって、失敗しても、構わずに皆と一緒に話をするのがまずまずの楽しみである。会話グループに一番感謝を伝えたいことは、みんなと雑談したことです。会話グループでは、様々な立派の人と一緒に音楽に接したり、自分の人生の経験や意見を交換したり、自分の世界を広げたりする。日常生活だけでなく、時には、毎週一回会ってみんなと関わる事ができます。

ですから、みなさんとも会話グループに参加して下さるまでが、興味あるあれば、是非お誘い下さい。絶対に悔いなくともいいのですが、絶対に後悔したくないと思います。将来の会話を楽しみにして！

アメリカのノースカロライナ州チャペルヒル在住。2024年6月～8月にHIF主催「日本語日本文化講座夏期セミナー(JJ)」に参加。高校生の時から日本語の勉強を始める。ジブリ映画が好きで、一番好きなのは「風の谷のナウシカ」。趣味はトロンボーン、水泳、読書など。



